



# ちくぜんフォトコン2018 入賞作品発表

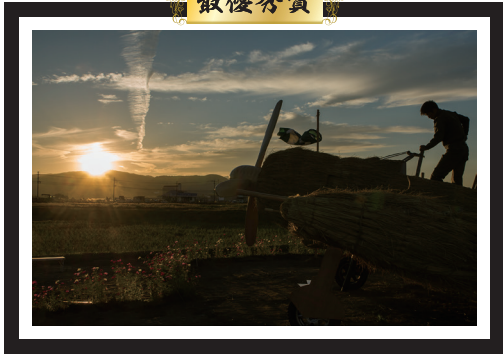
～秋・冬の部～

募集期間：2018.9/1～2019.1/31

※ユーザー名は、InstagramのIDを表しております

(観光ツーリズムプランナー 武田)

## 最優秀賞



『黄昏と平和への想い』

ユーザー名：@k\_maruさん

撮影場所：安の里公園付近

## 優秀賞

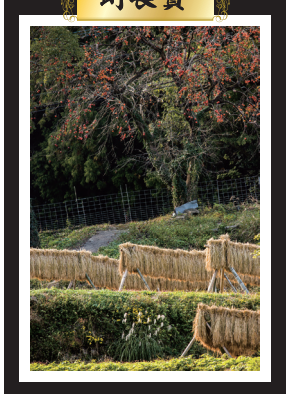


『夕焼け』

ユーザー名：@saki.287さん

撮影場所：草場川安田橋付近

## 町長賞



『秋の里山』

ユーザー名：@itaken3さん

撮影場所：筑前町坂根

## 地域おこし協力隊賞



『同じ目線で。』

ユーザー名：@pocoakiさん

撮影場所：仙道古墳

2016年9月から2019年2月までフォトコンテストを計5回実施しました。皆さんのお陰でコンテストのハッシュタグ「#ちくぜんフォト」には4,000枚を超える写真が投稿されました。

たくさんの方に写真を投稿してもらうことで情報発信が拡大することを目的としたフォトコンテスト。素敵な写真をありがとうございました。

# 地域おこし協力隊通信



いっちょやるばい!!



## vol.32 (最終号)

原稿：森・武田・甘城  
デザイン：甘城



卯月 UZUKI

# 3年間の活動期間が終了します

観光ツーリズムプランナー 武田 翔太 たけだ しょうた



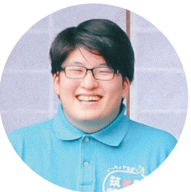
観光ツーリズムプランナーとして、主に写真や動画(ドローンを含む)を用いた情報発信、観光PRを担当しました。筑前町の撮影スポットを町外に発信して有名にすることが個人的な目標でした。少しは有名になったのではないのでしょうか。春からは筑前町を離れます。協力隊の任期中で得た知識や経験を今後も別の場所で活かしたいと思えます。

農林資源活用プランナー 森 武志 もり たけし



筑前町の素晴らしい特産品をどうやって広めていくかという事を常に念頭に置いて活動しました。クロダマル、姫酢(木酢)、ちくぜん黒糖がある時はそのまま、またある時は加工品にしてバイヤーに提案しました。東京や福岡でのイベントで販売を積極的に行い、認知度向上に結び付けました。活動期間は終了しますが、今後も筑前町の自然の中で育った「美味しさ」の情報をお客さまに届けたいと思います。

ちくぜんの魅力デザイナー 甘城 卓也 あまぎ たくや



私は平成28年に福岡市から移住してきました。筑前町の魅力をデザインすることがミッション。作品として、町をPRするポスターやのぼり、手提げ袋、観光パンフレット「ちくぜん散歩」をはじめ、特産品をPRするパンフレットや大刀洗平和記念館のお土産コーナーで販売している缶バッジやタオルなどを制作しました。任期後は筑前町を離れますが、今後も腕を磨いていきたいと思います。

## 地域おこし協力隊とは?

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行う。その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。(任期：最長3年間)

筑前町地域おこし協力隊 ホームページQRコード



● 地域おこし協力隊通信記事の過去掲載分は公式ホームページ（「筑前町地域おこし協力隊」で検索）に掲載しています。